


AzaC療法 (Azacitidine)					
		Day			
薬剤名	用法用量	1	7		28
ビダーザ ※1 (Azacitidine)	75mg/m ² 点滴静注(10分) または皮下投与				

4週間ごと(1週間投与、3週間休薬) PD(憎悪)まで

【制吐対策】

① 5-HT ₃ 受容体拮抗薬 (Day1~7)
② デキサメタゾン静注9.9mg (Day1~7)

【基本事項】

骨髄異形成症候群

【レジメンポイント】

① 外来化学療法として導入する場合、低リスク骨髄性異形成症候群を対象に土日を休薬して平日に計7日間投与したスケジュールが報告されている

【好中球減少、血小板減少時の投与量の調節】

① 治療開始前値が白血球数 $\geq 3,000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ かつ血小板 $\geq 75,000/\text{mm}^3$ のすべてを満たす場合

当該サイクルの最低値	次サイクルの治療
好中球数 $< 1,000/\text{mm}^3$ または 血小板 $< 50,000/\text{mm}^3$	① 治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次サイクルを開始する。 ② 14日以内に回復しない場合、次サイクル投与量を50%量に減量する。

② 治療開始前値が白血球数 $< 3,000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $< 1,500/\text{mm}^3$ または血小板 $< 75,000/\text{mm}^3$ のいずれかに該当する場合

当該サイクルの最低値	次サイクルの治療	
白血球数、好中球数または血小板のいずれかが治療開始前値の50%以下に減少 (ただし、同時に輸血等の処置なしで当該サイクル開始時よりも増加が認められる場合は該当しない)	① 治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次サイクルを開始する。	
	② 14日以内に回復しない場合は下記に従う。	
	骨髄細胞密度	次サイクル投与量
	>50%	100%量で継続する
15-50%	21日以内に回復しない場合、50%量に減量する	
<15%	21日以内に回復しない場合、33%量に減量する	

【主な副作用】

骨髄抑制、感染症、腎障害